

2009年度中堅職員ステップアップ研修(2)
情報リテラシー支援

藤田 節子
(川村学園女子大学教育学部)

2009年6月15日

© Fujita Setsuko 2009

1

本講座の目的と目標

目的

図書館が利用者の情報リテラシー支援の拠点として活動する意義・役割、現状・実態、支援方法の種類、企画法などを学ぶ。

目標

- 情報リテラシー支援講座(OPAC使い方講座)の実施企画書と実施プログラムモデルを策定する。
- このモデルをもとに講座終了後各館で具体的な支援講座を実施することにつなげる。

© Fujita Setsuko 2009

2

第1部:午前

- はじめに一本講座の目的と目標
- 情報リテラシーとその必要性
- 情報リテラシー支援の種類
- 情報リテラシー支援の現状(アンケート結果報告)
- 情報リテラシー支援の事例
 <休憩>
- 利用者の情報探索行動の実態
- 情報システム構築の考え方と支援方法
- 情報リテラシー支援講座の企画策定のしかた

© Fujita Setsuko 2009

3

第2部:午後

- 事前企画書に対するコメント
 ==グループ演習==
- 「OPAC使い方講座」の企画モデル策定
 <休憩>
- グループ毎の発表
- 全体のまとめ

© Fujita Setsuko 2009

4